

# 石小っ子の教育

6年生保護者さま  
令和8年9月28日  
河内長野市立石仏小学校

## 全国学力・学習状況調査、すくすくテストからみた 石小っ子

4月に行われた全国学力・学習状況調査とすくすくテストの結果について学校全体の概要をまとめました。結果をもとに、本校の子どもたちの傾向を考察しました。この結果をもとにして、本校の子どもたちの実態を把握し、今後の効果的な指導のあり方につなげて、取り組んでいきたいと考えております。

### Ⅰ. 学力調査の概要

#### 【国語】 ◇概要

・平均正答率は、どの観点でも府・全国の平均を上回る結果となった。特に、知識及び技能を見る問いでは、言葉の特徴や使い方に関する事項において正答率が9割にせまるものも多く、成果が見られた。

#### ◎特に成果が見られた問題例

・言葉の特徴や使い方に関する事項[1二(3)]、[2三ア]、[3一]は、よくできており、文章の種類の特徴をつかんで、その表現の工夫がわかったり、日常で使う漢字が正しく書けたりするなど力をつけていることがわかる。

・記述問題[2四]、[3三(2)]については、無解答率が低く、どちらも条件に合わせて書き切った児童が多く、粘り強く取り組む姿勢がある。

#### ▲特に課題が見られた問題例

・文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかを見る問いでは、大阪府・全国の平均を下回った。誤答の7割は、別の選択肢の「順序立てて書いている」というようなもっともらしい言葉の入ったものを選んでおり、文章の構成を正しく読み取ることに課題が見られた。

・情報と情報との関係についての理解をみる問いでは、考えとそれを支える理由が合っていないものを選んで間違ってしまった児童が多くおり、適切な「くふう」を選ぶという意図をつかみ切れていないことが考えられる。

#### 【算数】 ◇概要

・各領域の正答率を見てみると「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4つの領域は、府・全国の正答率よりも上回っている。唯一、「測定」の領域については、府・全国の正答率よりも2%程であるが下回る結果となった。正答率の中央値を見てみると、16問中11問であった。

#### ◎特に成果が見られた問題例

・異分母の分数の大きさを判断し、その理由を数や言葉を用いて記述する設問では、府・全国の正答率を25%程上回っている。[3(3)]

・「記述式」の問題においては全て、府・全国の正答率を上回っている。

#### ▲特に課題が見られた問題例

・「赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を二つ選ぶ」設問は、府・全国の正答率を7%程下回っている。「もとにする量」と「比べる量」「割合」の関係の理解が不十分だと考察できる。[2(4)]

### 2. すくすくテストの概要

#### 【理科】 ◇概要

・全体の平均正答率は府平均をわずかに上回る結果となった。自然現象の理由など高い成果が見られる単元がある一方で、特定の生き物のつくりや水溶液の溶解度に関する知識、技能の定着に課題が残る結果となった。

#### ◎特に成果が見られた問題例

・空気の温まり方や熱気球の仕組みで平均正答率97%、水の蒸発や水蒸気に関する自然現象の理由で正答率90.9%を記録するなど、確実な理解が定着している。

#### ▲特に課題が見られた問題例

・昆虫の体のつくりに関する知識を問う問題の正答率が18.2%、水溶液から溶質を取り出す温度変化、溶解度に関する問題の正答率が30.3%と、特定の知識技能や思考を伴う問題で課題が見られた。[1(3)][2(5)]

#### 【わくわく問題(教科横断的問題)】 ◇概要

・府の平均正答率より、やや上回っていた。

・短い文章、図や表から内容を読み取り、解答することができている。

#### ◎特に成果が見られた問題例

・生活のかかわりのある「接着剤」を題材とした問題では、資料の整理や読み取った内容に基づいて考えることできていた。[1(1)]

・図書委員会の活動で子どもたちが考えたキャッチコピーを選ぶ問題では、会話文の内容を正しく読み取ることができていた。[3(2)]

#### ▲特に課題が見られた問題例

・学習した内容(接着剤とくつつく素材の性質について)を問題の中では活用できるが、自分の生活と結び付けて考えたり、活用したりすることが難しかった。[1(3)]

## 【児童アンケート】全国学力・学習状況調査質問・すくすくウォッチ質問より

### ◎特に成果が見られた質問 ※数値は、肯定的な回答

| 学調  | 質 問                 | 本校  | 府    | 全国   |
|-----|---------------------|-----|------|------|
| (8) | 自分には、よいところがあると思いますか | 100 | 86.1 | 85.6 |

本校は、100%と、府や全国を大きく上回っている。教育活動において、一人ひとりの良さを認める声掛けや、委員会活動や学校行事等で、自分が周りの役に立っていると実感できる場面を今後も継続していきたい。

| 学調   | 質 問                                            | 本校   | 府    | 全国   |
|------|------------------------------------------------|------|------|------|
| (11) | 人が困っているときは、進んで助けますか                            | 96.9 | 91.6 | 92.7 |
| (46) | 友だちや周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか      | 100  | 90.1 | 91.4 |
| (42) | 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか | 93.8 | 84.4 | 85.7 |

いずれも、府や全国を大きく上回っている。友だちを尊重しながら関わることや、協力して何事も取り組む力が育ってきていると言える。(42)についても 93.8%と高く、授業において、主体的・対話的な学習を大切にしてきた一定の成果が見られる。

| 学調   | 質 問                                                  | 本校   | 府    | 全国   |
|------|------------------------------------------------------|------|------|------|
| (13) | 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか                  | 87.5 | 76   | 70.6 |
| (45) | 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思いますか | 93.7 | 87.7 | 87.3 |

子どもたちにとって、教職員が、困ったときに頼ることのできる存在となっていることを示している。今後も、子どもたちと信頼関係を構築し、安心して学校生活や学習に取り組んでいけるような環境づくりに努めていきたい。

| 学調   | 質 問                                               | 本校   | 府    | 全国   |
|------|---------------------------------------------------|------|------|------|
| (22) | 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか | 96.9 | 80.1 | 79.4 |
| (39) | 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか                    | 84.4 | 76.3 | 77.6 |
| (41) | 自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか                      | 90.7 | 79   | 80.8 |

いずれも、府や全国を大きく上回っている。一斉に同じ課題や学び方をするだけでなく、自分に合った方法を自分で決める経験を少しずつ経験してきている成果と言える。

| 学調   | 質 問                                                         | 本校   | 府    | 全国   |
|------|-------------------------------------------------------------|------|------|------|
| (44) | 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか            | 93.8 | 79.8 | 80.8 |
| (47) | 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 | 87.5 | 78   | 79.4 |

いずれも、府や全国を大きく上回っている。授業で学んだことを、単なる知識として終わらせず、何のために学ぶのか、生活の中でどう生かせるのかという視点を持てるように、振り返りを大切にした授業づくりを今後も進めていきたい。

また、(47)について、探究的な学習の中で、課題設定→情報収集→整理分析→まとめ発表という学習過程を経験している成果が見られる。

## ▲特に課題が見られた質問

| すく   | 質 問                      | 本校   | 府    | 全国 |
|------|--------------------------|------|------|----|
| (38) | 学級会の話し合いでは、少数意見も大切にしている。 | 60.6 | 70.7 | —  |
| (47) | 自分の考えを積極的に発信している         | 48.5 | 55.3 | —  |

友だちや周りの人の考えを大切にするという意識は高いものの、実際の話し合いの中で、少数意見や自分とは異なった意見を受け入れ、どう生かしていくかということには課題がある。また、自分で考えたり、学び方を工夫したり、友だちとの対話から考えを深めることはできているが、自分から周りに発信していくことに課題がある。今後、少数意見や自分とは異なった考えを価値付け、多様な考えを生かしていけるような話し合い活動を充実させていきたい。

### 調査結果を受けて

#### (1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

- ・対話を重ねて考えを深めることや振り返りを大切にした授業づくりを進めていきます。
- ・文章全体の構成を正しく読み取り、情報を整理して理解する力をつけるため、文章問題の取り組みに力を入れます。問いや答え、主張や根拠、具体例をつかみ自分の考えの形成につながる授業づくりを進めます。
- ・学んだことを他教科の学習でも活かせるように、伝え合う活動にも積極的に取り組んでいきます。
- ・単に「比べられる量 ÷ もとにする量 = 割合」といった公式の丸暗記にとどまらず、「なぜこのわり算になるのか」「出た商(答え)は何を表しているのか」を根拠とともに考え抜く学習を進めます。また、友だちと考えを伝え合い、多様な考えを比較・検討する授業づくりを進めます。

#### (2) 児童のみなさんに取り組んでほしいこと

- ・本をたくさん読みましょう。
- ・今までに習った漢字も自主的にくり返し練習をして、確実に身につけましょう。
- ・難しい問題に取り組んだり、不思議だなと思うようなことがあったりするときには、そのままにしないで、質問したり、自分で調べて、最後まであきらめず取り組みましょう。
- ・自分の考えや感想など、文章を書いた後は、読み直しをしましょう。読む人にわかりやすい文章になっているか、言葉が正しく使えているかを見直しましょう。
- ・学習したことが身の回りのどのような場面で活用されているのかを考えるようにしましょう。
- ・答えだけでなく、なぜそう考えたのかを言葉で説明する習慣を意識して取り入れてみましょう。
- ・わくわく問題のように、身近な事象や資料から読み取った情報を整理し、自分の考えや伝えたいことを進んで文章に表すことに挑戦しましょう。

#### (3) 保護者のみなさまに協力していただきたいこと

- ・家庭学習において、宿題のサポートをお願いします。
- ・小さな言動もたくさんほめてあげてください。お家の方からほめられたり認めてもらえたりすることは、子どもたちの自尊感情や、「やってみよう！」という前向きな言動のエネルギーとなります。
- ・ご家庭で本に触れる機会を増やしていただけるとありがたいです。
- ・日常生活の中にある科学的な現象(天気やものの温まり方、道具の工夫など)について、お子さまと一緒に目を向け、会話を交わす機会を作っていただけるようお願いします。
- ・学校での学習や家庭学習において、自分の考えをノートに分かりやすく書いたり、最後まで粘り強く考えたりする姿を暖かく見守り、励ましていただけるようご協力をお願いします。